



2022年5月23日

各位

会社名 株式会社芝浦電子
代表者名 代表取締役社長社長執行役員 葛西 晃
(コード番号 6957 東証スタンダード市場)
問合せ先 経営管理部長 星ノ谷 行秀
電話番号 048-615-4000

中期経営計画（2022年度～2024年度）策定のお知らせ

当社は、「われわれは、地球環境を守り、世界の人々の笑顔あふれる暮らしの向上と文化の発展に貢献する」という企業目的のもと、継続的な企業価値の向上を目指しています。

経営環境の変化に柔軟に対応するため、昨年策定した「中期経営計画 Sense the Dynamics 2021-2023」を更新し、2022年5月23日開催の取締役会において「中期経営計画 Sense the Dynamics 2022-2024」を策定、決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

<中期経営計画 Sense the Dynamics 2022-2024 の概要>

1. 中期経営計画方針

- (1) 品質・生産性向上
- (2) 製品開発
- (3) 人財育成・ガバナンス強化

2. 事業分野

	注力する用途・品目
ホームアプライアンス	省エネ家電（エアコン、電子レンジ、温水洗浄便座等）
オートモーティブ	環境対応車（EV車、HV車、PHEV車・FCV車）
インダストリアル	産業用ロボット、業務用冷凍冷蔵庫、ドローン、新規分野等

3. 財務目標

成長の持続性、収益力強化、資産効率を重視した経営を目指し、売上高、売上高営業利益率、自己資本当期純利益率（ROE）を財務目標とします。

	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	33,000百万円	37,000百万円	41,000百万円
売上高営業利益率	18.2%	19.0%以上	20.0%以上
ROE	13.0%以上	14.0%以上	15.0%以上

4. 設備投資・配当方針

- (1) 設備投資 事業拡大のために積極的な設備投資を継続
- (2) 配当方針 十分な自己資本を維持しつつ、長期的にわたって安定的・継続的に配当を実施
ROEや自己資本配当率（DOE）の水準も考慮

5. サステナビリティ経営

- (1) サステナビリティ方針の制定
- (2) コーポレートガバナンスの強化
 - ・ コーポレートガバナンス基本方針の制定
 - ・ 取締役会の構成見直し
 - ・ 取締役会実効性評価
- (3) ESG、SDGsの推進
 - ・ マテリアリティの特定
- (4) 国際的なイニシアティブへの賛同
- (5) カーボンニュートラルに向けた目標設定
- (6) 地域貢献活動

以 上



株式会社 **芝浦電子** STANDARD
TOKYO 6957

中期経営計画 Sense the Dynamics 2022-2024

2022年5月23日



01

中期経営計画 Sense the Dynamics 2021年度のふりかえり

1. 計画の達成状況 財務目標

- 2021年度は売上高、売上高営業利益率、ROEの財務目標値をすべて達成

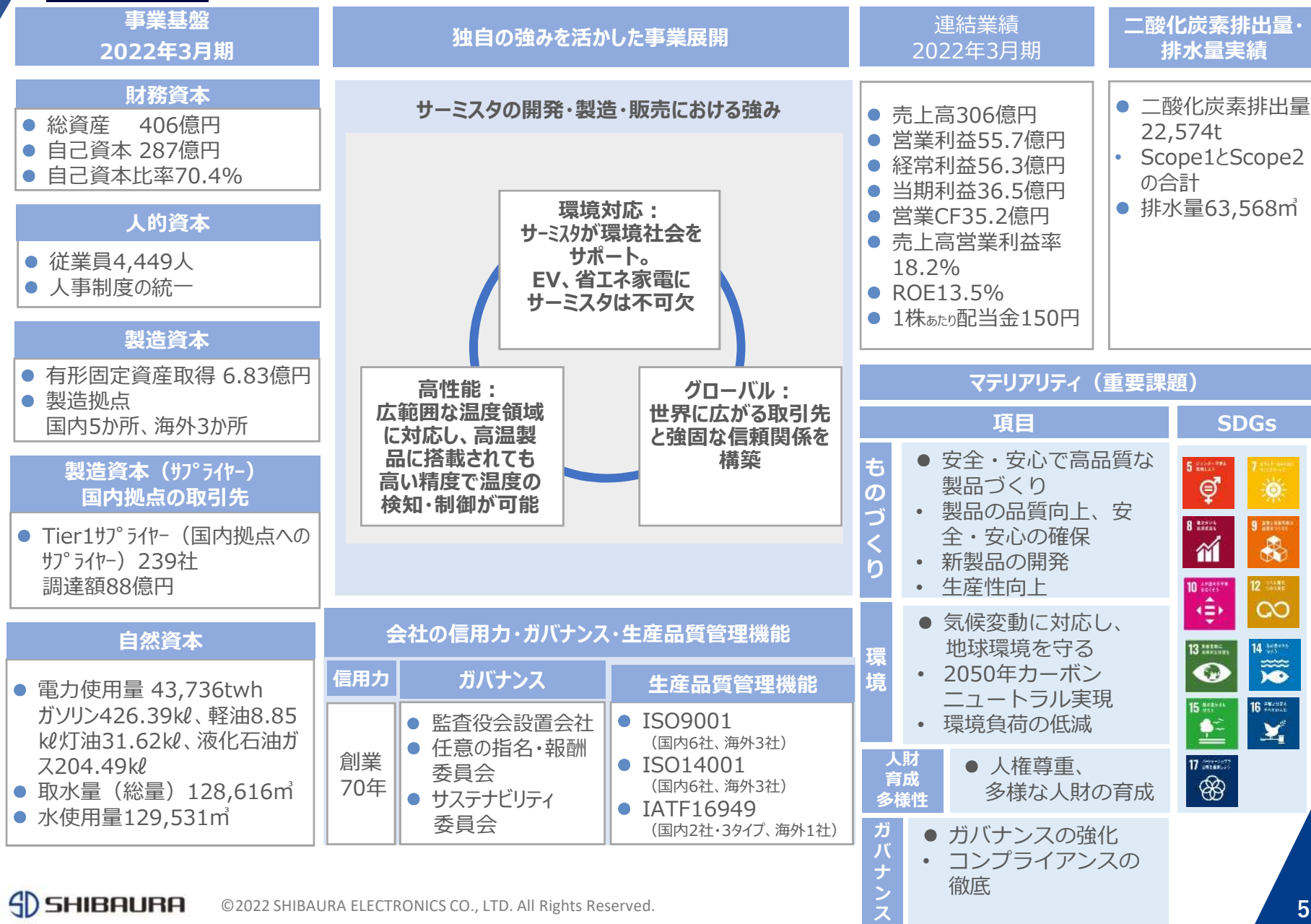
	2021年度 計画	2021年度 実績	差異
売上高	285億円	306億円	+21億円
売上高営業利益率	14.4%	18.2%	+3.8ポイント
ROE	10%	13.5%	+3.5ポイント

2. 施策の実施状況

● 2021年度の重点施策と実施内容

	基本方針	重点施策	2021年度実施内容
1	品質・生産性向上	製造工程の効率化	<ul style="list-style-type: none"> 製造工程にIT技術の導入実施 継続的な改善活動
		グローバル調達	<ul style="list-style-type: none"> 新規海外サプライヤーからの購入 材料の現地調達の推進
		品質保証	<ul style="list-style-type: none"> グローバル品質管理体制の構築
2	製品開発	製品開発方針	<ul style="list-style-type: none"> 高温センサーのニーズ開拓 小型・薄型・耐圧型製品の開発 自動化設備の対応
		オートモーティブ推進	<ul style="list-style-type: none"> HV・EVなど環境対応車への対応強化 HV・EV生産に係る自動加工機の導入 社員の多能化推進
3	人財育成 ガバナンス強化	人財育成	<ul style="list-style-type: none"> 本社新人事制度導入 国内工場新人事制度導入準備
		ガバナンス強化	<ul style="list-style-type: none"> コーポレートガバナンス基本方針策定 改訂コーポレートガバナンスコードに対応 積極的な情報開示 指名委員会、報酬委員会の設置

3. 価値創造プロセス図



02

中期経営計画
Sense the Dynamics
2022-2024

1. 中期経営計画 Sense the Dynamics 2022-2024の位置づけ

- 経営環境の変化に柔軟に対応するため、中期経営計画をローリング方式とし、毎年計画を見直します。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
前回発表→	Sense the Dynamics 2021-2023				
今回発表→		Sense the Dynamics 2022-2024			
来年発表→			Sense the Dynamics 2023-2025		

2. 中期経営計画 概要

- 基本方針は前回プランを踏襲

中期経営計画 基本方針



品質・生産性向上



製品開発



人財育成・
ガバナンス強化

事業分野



ホームアプライアンス



オートモーティブ



インダストリアル

外部環境

財務基盤・収益力

芝浦電子の強み

3. 中期経営計画 Sense the Dynamics 2024年度 財務目標

- 高い収益性を維持しつつ、さらなる成長を目指します

410 億円
売上高

20 %以上
売上高営業利益率

15 %以上
ROE

4. 中期経営計画 Sense the Dynamicsを支える3つの基盤

外部環境

- 持続可能な社会への関心の高まり
- SDGs
- 脱炭素化社会への移行
- デジタル技術革新

当社の強み

- 広範囲にわたる高度な独自の技術力
- 材料から生産設備まで独自の開発力
- 世界最大級の生産能力
- お客様のニーズに対応
- ガラスサーミスタのパイオニア

財務基盤・収益力 2021年度実績

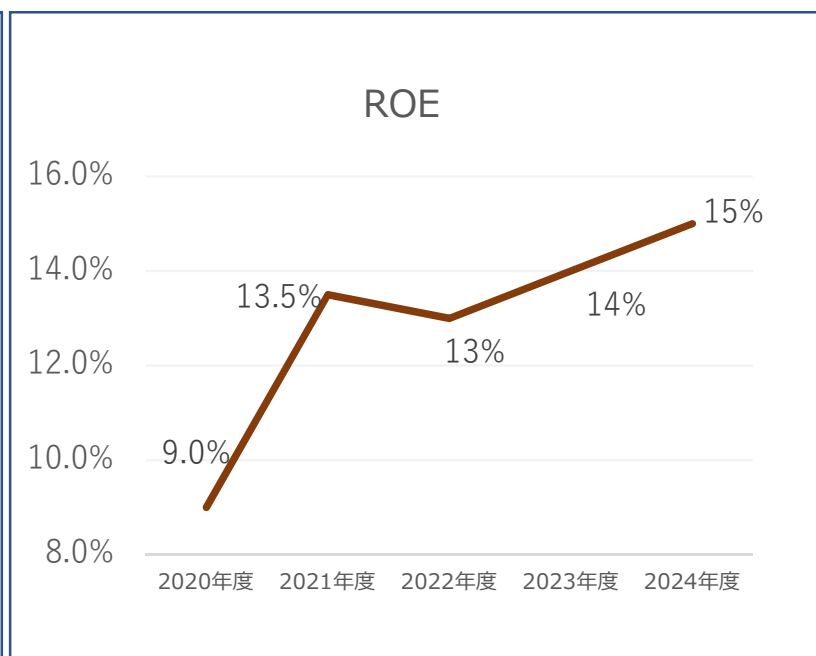
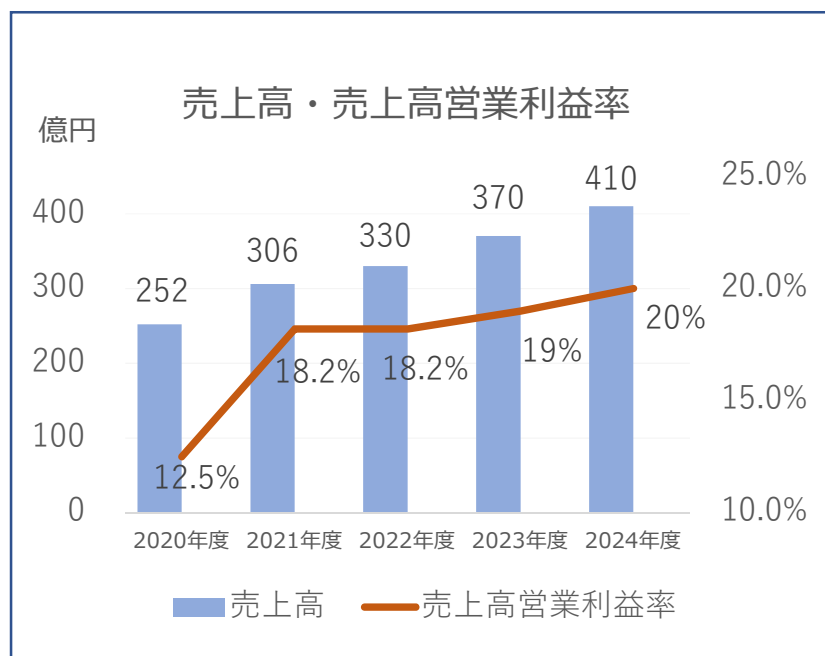
- 連結自己資本 287億円
- 連結自己資本比率 70.6%
- 売上高営業利益率 18.2%
- 税引後営業利益+減価償却費 54.4億円

脱炭素化社会への移行は、当社の強みがより生かせる状況であり、
経営基盤の強化に努め、持続的な成長を目指します

5. 中期経営計画 Sense the Dynamics 2022-2024年度 財務目標

中期経営計画 Sense the Dynamics

	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 計画	2023年度 計画	2024年度 計画
売上高	252億円	306億円	330億円	370億円	410億円
売上高 営業利益率	12.5%	18.2%	18.2%	19%以上	20%以上
ROE	9.0%	13.5%	13%以上	14%以上	15%以上



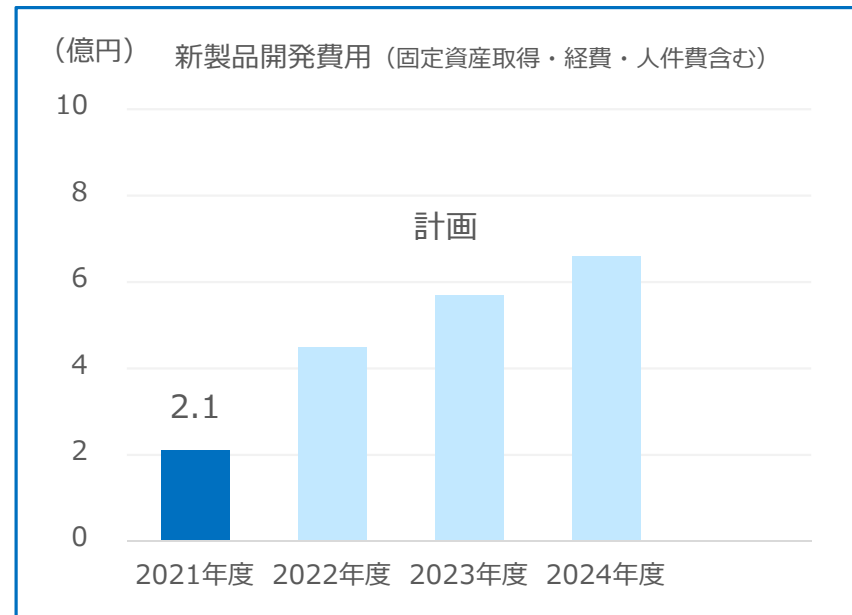
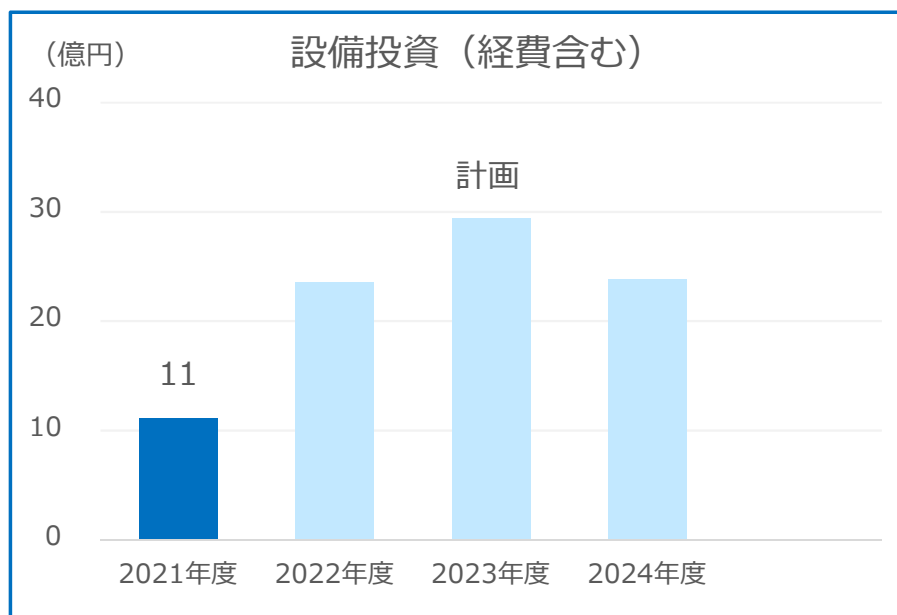
6. 設備投資と新製品開発費用の計画

設備投資（固定資産取得）

- 事業拡大のため積極的な設備投資を継続

新製品開発費用

- 新分野、新製品開発



➤ 今年度より新製品開発費用の計上方法を変更

7. アユタヤ工場の再稼働について

- タイ芝浦電子は、2011年の洪水被害以降操業を停止しているアユタヤ工場を再稼働させるため、同工場の改修工事を行います。
- 総事業費は約4億円、改修工事後の工場延床面積は7,000平方メートル、2022年12月の完成を予定しています。



①シンブリ工場 ②アユタヤ工場



アユタヤ工場の完成イメージ図

- シンブリ工場の生産設備の一部をアユタヤ工場に移管します。
- アユタヤ工場への移管に伴うシンブリ工場の空きスペースは、今後の需要拡大に対応する予定です。

8. 事業分野



ホームアプライアンス

- ◆注力する用途・品目
- 省エネ家電
 - ・ エアコン
 - ・ 電子レンジ
 - ・ 温水洗浄便座等



オートモーティブ

- ◆注力する用途・品目
- 環境対応車
 - ・ EV車・HV車
 - ・ PHV車・FCV車



インダストリアル

- ◆注力する用途・品目
- ・ 産業用ロボット
- ・ 業務用冷凍冷蔵庫
- ・ ドローン
- ・ 新規分野等

本業を通じたSDGsへの取り組み



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

自動車や家電などの省エネ製品に使用されている当社製品の普及により、環境問題の解決に貢献します。

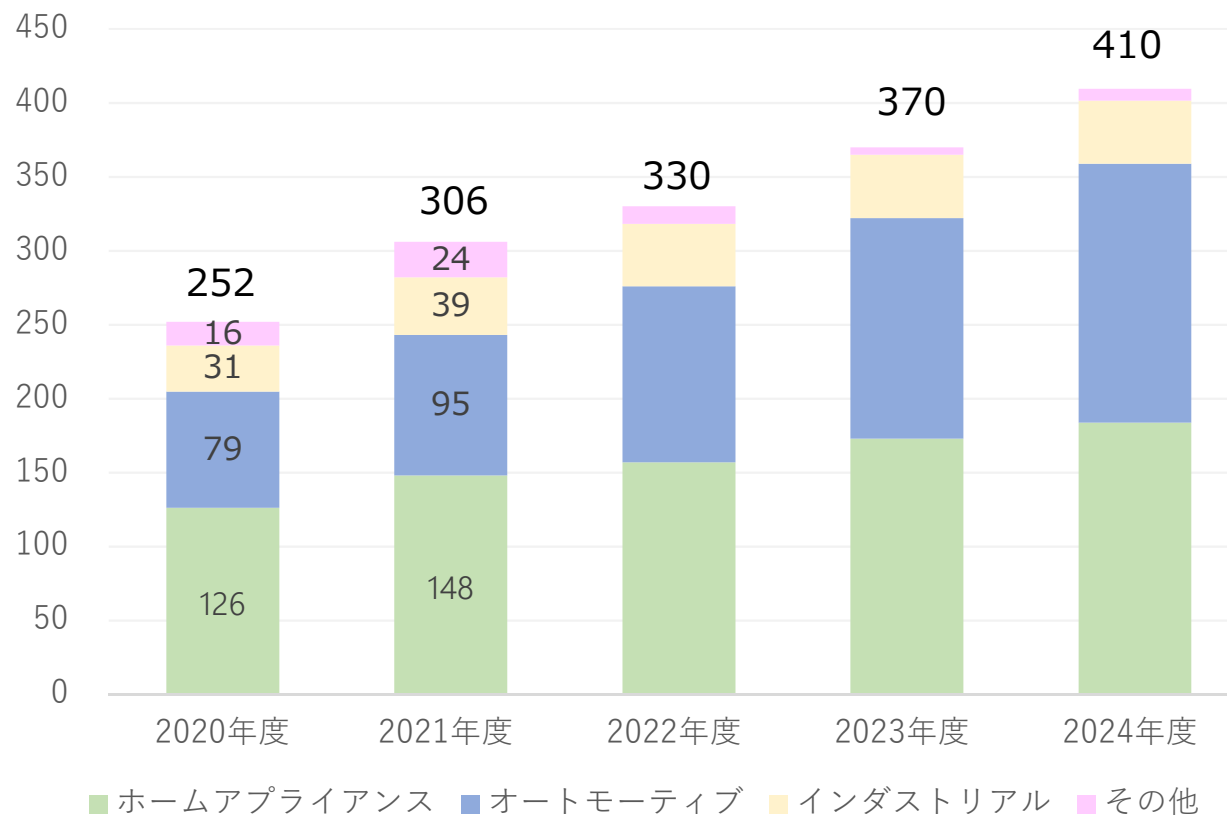


13 気候変動に
具体的な対策を

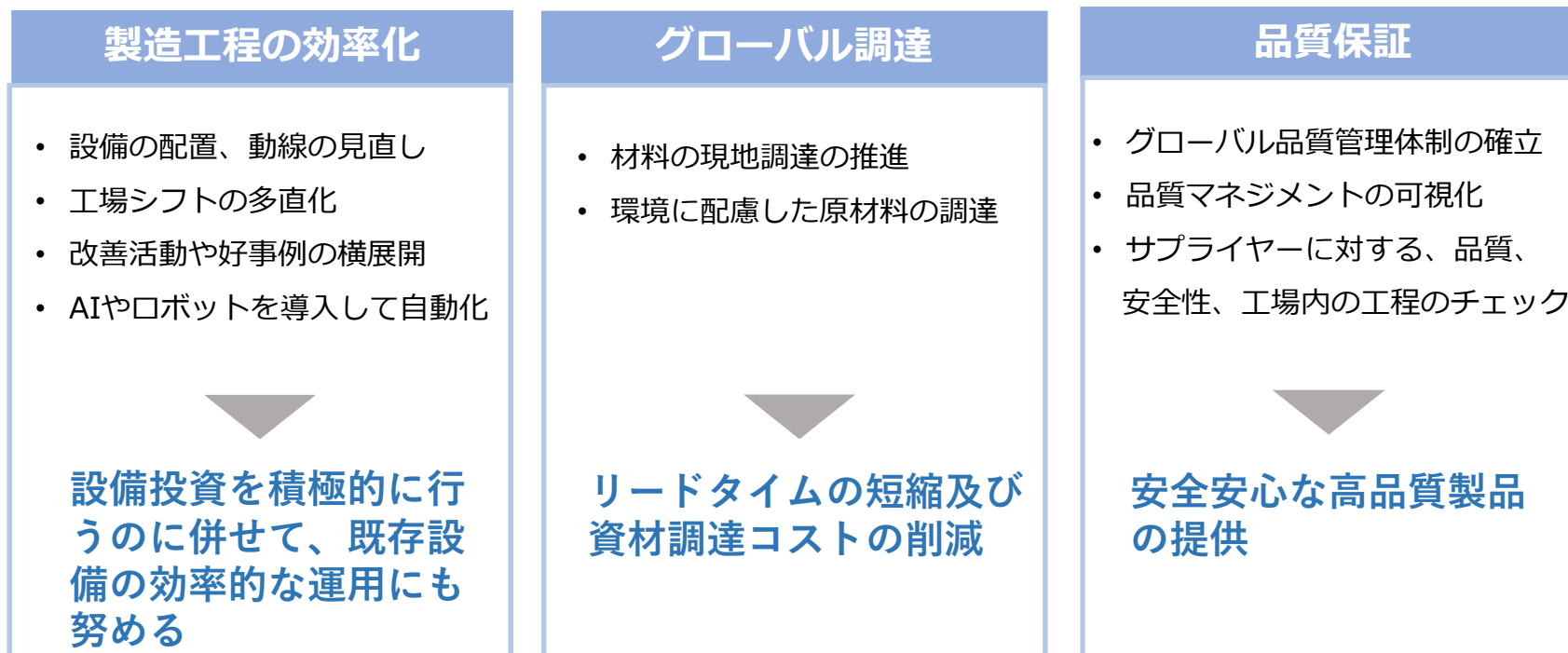
気候変動に対する各国の環境規制に順守した製品の開発・提供により、温室効果ガスの削減等、気候変動の抑制に貢献します。

9. 用途別売上高目標

(金額単位：億円)



10.基本方針 1. 品質・生産性向上



SDGsの取り組み



9 産業と技術革新の基盤をつくろう
製造工程の自動化、AI化に積極的取り組み、生産性及び品質の向上を図り、持続的な産業の発展に貢献します。



12 つくる責任 つかう責任
少ない資源で高精度・高い信頼性のある製品を生み出す製造方法を確立することで、持続可能な生産と消費の形態を確保します。

10. 基本方針 2. 製品開発

製品開発方針

- 小型・薄型・高耐圧製品
- 小型大容量化の進む電動部品に「安全・安心・効率化」の提案
- 高温センサの新ニーズ開拓
- 計測温度域の広いワイドレンジ特性素子
- 自動化設備の対応
(テーピング、エンボスキャリアテープ)
- オートモーティブ推進

顧客ニーズに沿った独自設計

- 開発段階から、使用環境や温度域などについての打ち合わせを重ね、課題を解決しながら、ニーズにあった製品を製造しています



SDGsの取り組み



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

環境対応車などに使用されている当社製品の普及により、環境問題の解決に貢献します。



13 気候変動に
具体的な対策を

気候変動に対する各国の環境規制に順守した製品の開発・提供により、温室効果ガスの削減等、気候変動の抑制に貢献します。



12 つくる責任
つかう責任

製造工程の自動化、AI化に積極的に取り組み、生産性及び品質の向上を図り、持続的な産業の発展に貢献します。



17 パートナーシップで
目標を達成しよう

お客様、サプライヤー、大学等と協力し、より安全で、地球にやさしい製品を普及させ、社会環境の向上に貢献します。

10. 基本方針 3. 人財育成・ガバナンス強化

人財育成

- 人事制度改革の推進
- 新人事制度の国内工場展開
- 多様な働き方への対応

人事制度改革でチャレンジを喚起する仕組みや、自発的な取組みを促進する制度の導入に加えて、長く働きやすい制度を整備することにより、社員のエンゲージメントを高めます。

ガバナンス強化

- コーポレートガバナンスの強化
- 取締役会実効性評価
- 気候変動への取り組み
- コンプライアンスの徹底

経済環境変化に迅速に対応できる経営管理体制の強化、経営の透明性向上の為、継続的にコーポレートガバナンスの強化に努めます。また、TCFDの趣旨に賛同し、推奨されている体制の整備と気候関連情報開示に取り組めます。

SDGsの取り組み



全ての事業活動において男女差別を行わず、あらゆるハラスメントを防止し、全ての従業員が働きやすい環境を整えます。



全ての事業活動において人種、信条、性別、年齢、社会的身分、障害の有無などの理由による差別をしないことを約束します。

11. 産学連携

サーミスタ素材形成技術の研究

- 薄膜
- MEMS

サーミスタ物性研究

- 機械特性解析
- 結晶構造解析

予測技術

- AI・ビッグデータ解析
- 破壊モード解析

生産システム

- 人員配置適正化

SDGsの取り組み



製造工程の自動化、AI化に積極的に取り組み、生産性及び品質の向上を図ることにより持続的な産業の発展に貢献します。



お客様、サプライヤー、大学等と協力し、より安全で、地球にやさしい製品を普及させ、社会環境の向上に貢献します。

12. 中期経営計画 資金利用の方針

- 企業価値最大化に向けた、投資と株主還元のバランス

中期経営計画2022年度-2024年度
税引後営業利益 + 減価償却費

200億円

設備投資 (※1)

80億円

株主還元 (※2)

40億円

財務体質強化

80億円

- (※1) 設備投資を積極的に行うのに併せて、既存設備の効率的な運用にも努めます。
- (※2) 十分な自己資本を維持しつつ、長期にわたって安定的、継続的に配当実施。
配当にあたっては、ROEや自己資本配当率（DOE）の水準も考慮します。

03

サステナビリティ経営

1. サステナビリティ基本方針

- 当社グループの持続的な成長を明確にするため、2021年11月に「サステナビリティ基本方針」を制定しました

サステナビリティ基本方針

芝浦電子グループは、「地球環境を守り、世界の人々の笑顔あふれる暮らしの向上と文化の発展に貢献する」という企業目的のもと、当社グループの主要製品であるサーミスタの提供により経済的価値を創出すること、及び様々なステークホルダーのニーズに積極的に対応するなど社会的価値を重視した経営を行うことで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

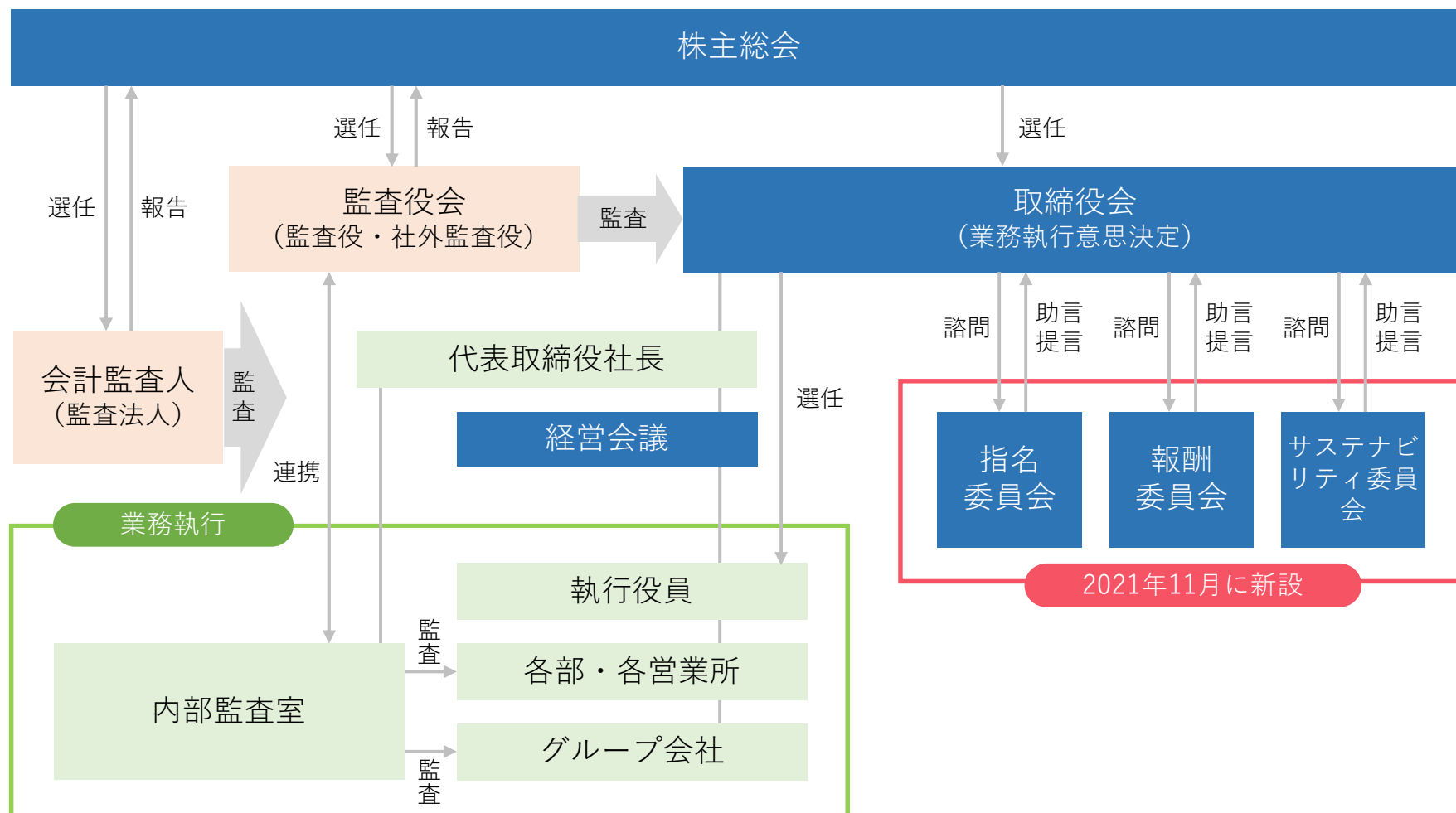


詳しくはこちら

2. コーポレートガバナンスの強化

- コーポレートガバナンス強化のため、2021年11月コーポレートガバナンス基本方針を制定しました。

- コーポレート・ガバナンス体制図



2. コーポレートガバナンスの強化

- コーポレートガバナンス強化のため、取締役会の構成を見直します。
 - 2022年6月の株主総会で女性社外独立取締役候補者を選任する予定です。
 - 選任後は取締役会における社外独立取締役の割合は42.8%となります。
 - また、取締役会における女性は、取締役1名、監査役1名となる予定です。

現在の取締役会構成

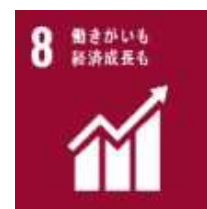
社内取締役 4名
独立社外取締役 2名
社内監査役 1名
独立社外監査役 2名(内1名女性)

独立取締役の割合 33.3%
取締役会における女性の人数 1名

2022年6月株主総会後の予定

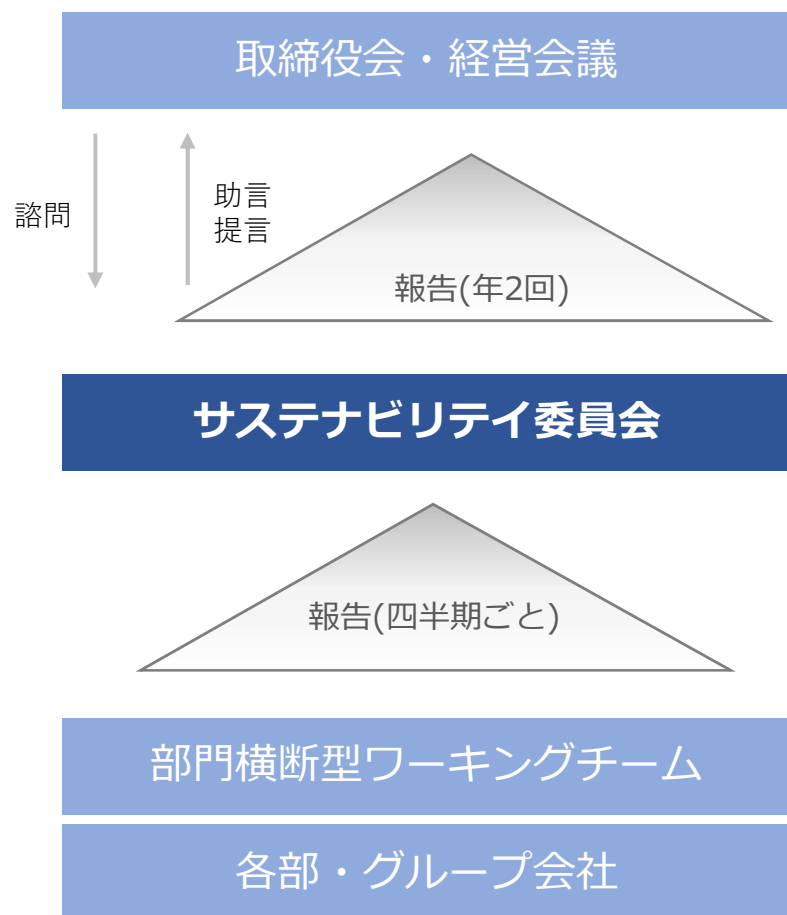
社内取締役 4名
独立社外取締役 **3名(内1名女性)**
社内監査役 1名
独立社外監査役 2名(内1名女性)

独立取締役の割合 **42.8%**
取締役会における女性の人数 1名
取締役会における女性の人数 **2名**



3. ESG・SDGsを経営課題として明確化

- グループ全体にサステナビリティへの取り組みを浸透させるため、サステナビリティ委員会を設置し、全社横断的な取り組みの推進に努めます



サステナビリティ委員会 (構成員)

- 社内外取締役及び執行委員

(目的)

- 全社的なサステナビリティを巡る取組の検討・推進

(活動内容)

- 各拠点における、サステナビリティの取組についての議論、評価
- サステナビリティ基本方針に基づく取組の推進

4. 4つのマテリアリティ（重要課題）と関連するSDGs

マテリアリティ(重要課題) 特定プロセス	テーマ	マテリアリティ（重要課題）	SDGs
<p>Step1</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 社会的課題の抽出 ・ 国連グローバルコンパクトの10原則やSDGsなどの国際的なガイドラインなどを踏まえて、社会課題の抽出 	<p>ものづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全・安心で高品質な製品づくり ・ 製品の品質向上、安全・安心の確保 ・ 新製品の開発 ・ 生産性向上 	
<p>Step2</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 社会的課題の優先順位付け ・ 抽出した課題を「芝浦電子グループにとっての重要度」と「ステークホルダーにとっての重要度」の2軸で総合的に評価し、優先順位の高い項目に絞り込み 	<p>環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 気候変動に対応し、地球環境を守る ・ 2050年カーボンニュートラルの実現 ・ 環境負荷低減の取組み 	
<p>Step3</p> <ul style="list-style-type: none"> ● マテリアリティの特定 ・ 優先順位の高い課題を「サステナビリティ委員会」で審議の上、取締役会で決定 	<p>人財育成 多様性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 人権尊重、多様な人財の育成 ・ 人財育成 ・ 人権尊重 	
	<p>ガバナンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ガバナンスの強化 ・ ガバナンスの強化 ・ コンプライアンスの徹底 	

5. イニシアティブへの賛同

- 芝浦電子グループは、持続可能な社会の発展に貢献すべく、以下の国際的な団体に署名・賛同を行っています。

TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）



TCFD提言への賛同 (2022年2月)

- TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)の趣旨に賛同し、推奨されている体制の整備と気候関連の情報開示に適切に対応します。

UNGC（国連グローバルコンパクト）

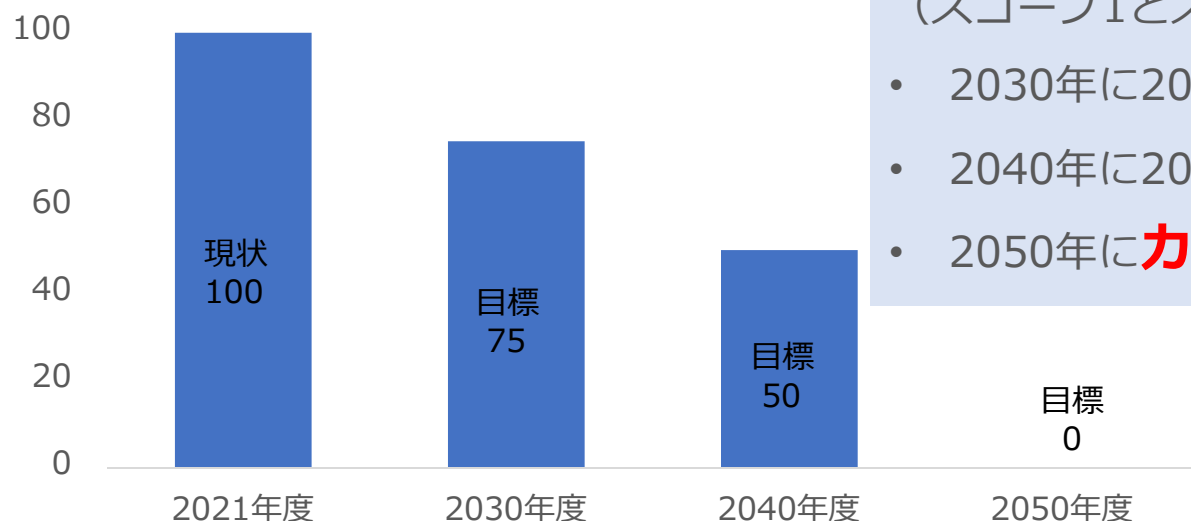


国連グローバルコンパクトに署名 (2022年3月)

- 国連グローバル・コンパクトの掲げる「人権・労働・環境・腐敗防止」についての4分野、10原則を遵守します。

6. 二酸化炭素排出量削減目標

目標達成の二酸化炭素排出量削減のイメージ



2021年度CO2排出量 **22,574 t-co2**
(スコープ1とスコープ2の合計)

- 2030年に2021年比CO2排出量を**25%**削減
- 2040年に2021年比CO2排出量を**50%**削減
- 2050年に**カーボンニュートラル**を実現

二酸化炭素排出量削減の施策

STEP 1 省エネ・再エネ

- 福島芝浦電子は、2022年4月から再生可能エネルギー電力を100%導入
- 国内子会社も順次再生可能エネルギーを導入

STEP 2 創エネ

- 太陽光発電設備等の導入
- 蓄電設備の導入

7. カーボンニュートラルに向けて

- 二酸化炭素排出量削減施策の具体例：2022年4月12日ニュースリリース

芝浦電子グループ会社である福島芝浦電子(福島県)では、この度 CO2 排出量・実質ゼロの再生可能エネルギー電力を 100%導入いたしましたことをお知らせいたします。

今後も脱炭素化に向け、グループ全体で取り組んでまいります。



8. 地域貢献活動

- 芝浦電子グループは、社会貢献活動の一環として、本社さいたま市の地域住民の方のため、災害時支援に力を入れています。
- 埼玉県的环境を保全するさいたま緑のトラスト運動に参加しています。



災害支援用備蓄品の貯蔵

- 大規模な災害発生時の際には、被災された方に生活用物資の支援等を行うために、災害備蓄品を貯蔵しています。



さいたま緑のトラスト協会に参加

- 埼玉の優れた自然や貴重な歴史的環境を県民共有の財産として末永く保全するための活動に参加します。

9. ESGの取り組み

	Environment (環境)	Social (社会)	Governance (ガバナンス)
社会的な課題	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化 環境規制強化 省エネルギー化 	<ul style="list-style-type: none"> 働きやすい環境整備 地域社会との共存 ダイバーシティ 	<ul style="list-style-type: none"> ガバナンスの強化 経営の透明化 適切な情報開示
現在までの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティ基本方針策定 サステナビリティ委員会設置 サステナビリティ情報開示 環境規制に順守した製品の開発 二酸化炭素排出量削減の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時提供品の備蓄 一般事業主行動計画の策定および実施 大学との産学共同研究 紛争鉱物への対応 自然災害被災地域でのボランティア活動 	<ul style="list-style-type: none"> 指名・報酬委員会設置 コーポレートガバナンス基本方針策定 独立社外取締役割合見直し 役員報酬制度見直し
これからの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ホームアプライアンス、オートモティブ等、環境対応関連分野推進 	<ul style="list-style-type: none"> ダイバーシティの推進 グローバル人財の育成 地域社会との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 改訂コーポレートガバナンスコードに求められるガバナンスの徹底 情報開示、ステークホルダーとの対話充実
関連するSDGs	  	  	



われわれは、地球環境を守り、
世界の人々の笑顔あふれる暮らしの向上と
文化の発展に貢献することを目的とする

参考資料

会社概要

社名	：	株式会社芝浦電子
創業	：	1953年3月3日
本社	：	埼玉県さいたま市中央区上落合
代表者	：	代表取締役社長 葛西 晃
事業内容	：	サーミスタ素子、並びにサーミスタ素子を応用した各種製品の製造販売 (温度センサ、湿度センサ、湿度計、温度制御器、風速計 等)
資本金	：	2,144百万円
売上高	：	306億円 (2021年度 / 連結)
経常利益	：	56億円 (2021年度 / 連結)
製造拠点	：	国内5拠点、海外3拠点 (タイ、中国)
販売拠点	：	国内3拠点、海外7拠点
従業員	：	約4,500人 (2021年度 / 連結)
上場証券取引所	：	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード：6957)
単元株式数	：	100株

将来の見通しに関する注意事項

- ◆ 本資料に掲載されている将来の見通しの記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因の過程を前提としています。
- ◆ 実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、原材料価格、製品の需給動向及び市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません
- ◆ 本資料中の定量目標、参考値、投資額等は、あくまでビジョン、中期的戦略等を示すものであり業績予想ではありません。当社はこれらについて情報を更新する義務を負いません。
- ◆ 正式な業績予想は東京証券取引所規則に基づく決算短信での開示をご参照ください。

IRに関する連絡先

経営管理部：keieikanri@shibaura-e.co.jp

 SHIBAURA

 株式会社 **芝浦電子**